

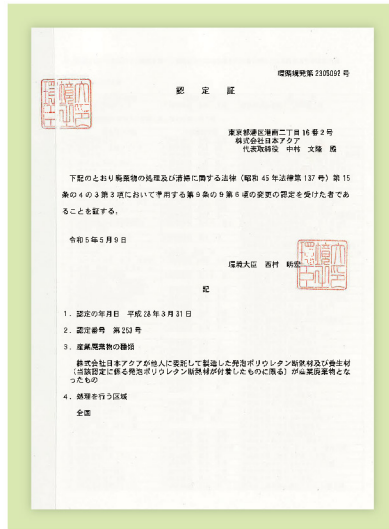
# 広域認定取得

アクアブロー®は広域認定制度※を利用し製品化された断熱材です。

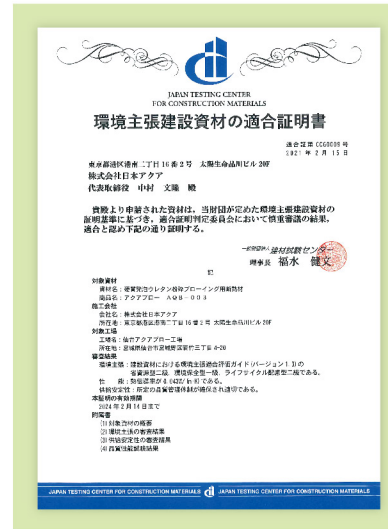
## ※広域認定制度とは？

廃棄物処理に関する地方公共団体ごとの業許可を不要とする特例制度。

廃棄物の処理を当該製品製造や構造を熟知している製造者等が広域的処理を行い、高度な再生処理や第三者が出来ない廃棄物の減量化や適正処理が確保される事を目的とする制度。



広域認定証



環境主張建設資材の適合証明取得



## 再資源化の流れ



現場施工・端材発生



回収・運搬



加工・再資源化

産業廃棄物扱いされていたアクアフォーム端材を建設現場から回収し、製品化しているため、環境に優しい。



アクアフォームを再資源化

断熱吹込み工法用硬質ウレタンブローイング

**アクアブロー®** AQUA Blow

健康で安全な住宅へ

特許取得済  
第6002195号

より環境に配慮した高性能断熱材(天井用)

# アクアブロー®



## アクアブロー®の5つの特長

### 1. 高コストパフォーマンス

原料はアクアフォーム・アクアフォームNEOの端材を使用しているため、コストを抑えられます。

### 2. 安全性

アクアフォームは水を使って発泡させているので、オゾン層破壊や地球温暖化の原因となるフロンを全く使用しない、地球に優しい素材です。

### 3. 施工性

吹込み工法でアクアフォーム同様隙間のない施工が可能。施工が容易で施工時間も短縮できます。

### 4. 長期安定性

一般的にブローイング工法の問題点と言われる吹込み後のアクアブローの沈下はほとんど有りません。

### 5. 環境負荷の低減

残材を利用する為、原料由来のCO<sub>2</sub>発生を大きく抑制でき、環境に優しい断熱材です。

物性値 物性値 JIS規格(JISA9523)吹込み用繊維質断熱材の試験方法を準用

種類	品質	熱伝導率 W/(m・k)	基準密度 kg/m <sup>3</sup>
AQB-002・003・005		0.043	18

※アクアフォーム(A種3)とアクアフォームNEO(A種1H)の端材を原料として混合した製品  
 ※アクアフォームLITE(A種3)とアクアフォームNEO(A種1H)の端材を原料として混合した製品  
 ※アクアフォームLITE(A種3)とアクアフォームNEO(A種1H)とアクアモエン(A種1H)の端材を原料として混合した製品



SDGsの  
取組み

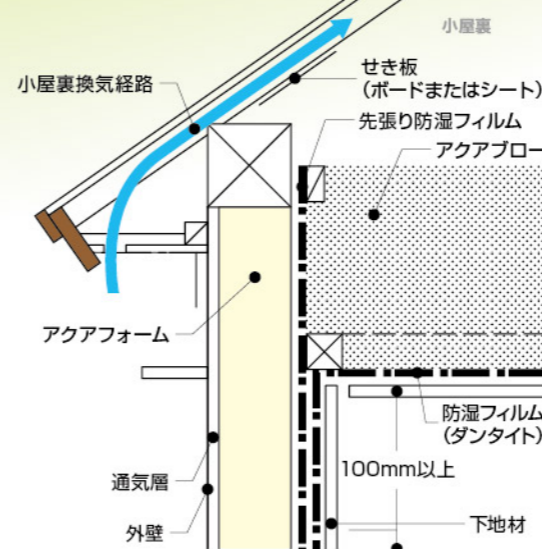
SDGsとは持続可能な  
開発目標のことです。

2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

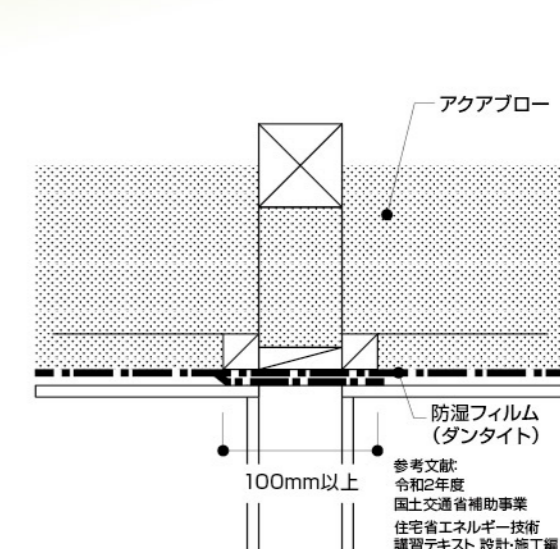
## <防湿フィルム施工注意点>

防湿気密シート納まり例

### ■軒先こぼれ止め処理

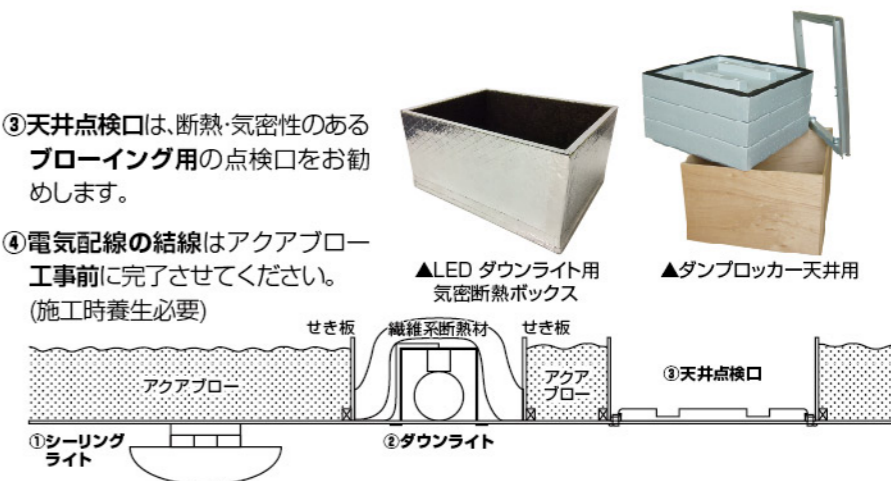


### ■最上階天井と間仕切り壁取合い

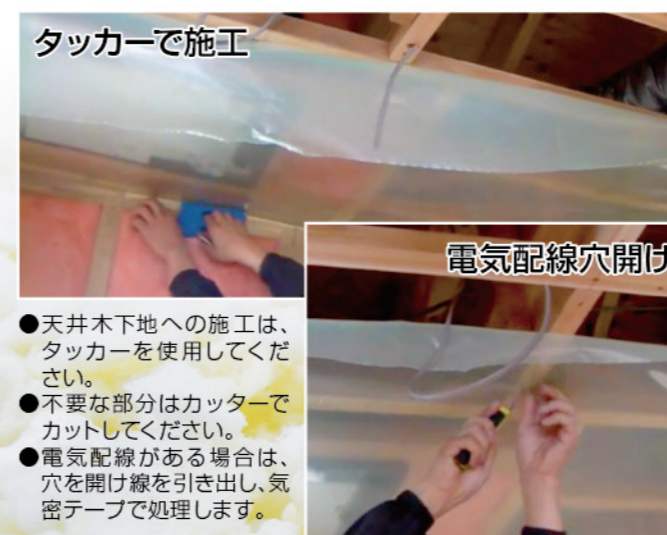


### ■事前準備について

- 断熱する天井に設置する照明器具は、断熱層や防湿層の欠損を防ぐために、シーリング(直付)式の器具が望ましいです。また、ダウンライトを使用する際は、S型を使用してください。
- ダウンライト用の気密断熱ボックスを利用するか、ダウンライト周囲を枠で囲んで、各照明器具メーカー推奨の方法で処理してください。
- 天井点検口は、断熱・気密性のあるブローイング用の点検口をお勧めします。
- 電気配線の結線はアクアブロー工事前に完了させてください。(施工時養生必要)



## 住宅用プラスチック系防湿フィルム JISA6930



- 天井木下地への施工は、タッカーを使用してください。
- 不要な部分はカッターでカットしてください。
- 電気配線がある場合は、穴を開け線を引き出し、気密テープで処理します。



項目	JISA6930	
	A種	B種
透湿性	透湿抵抗 (m <sup>2</sup> ・S・Pa/μg) 82×10 <sup>-3</sup> 以上 144×10 <sup>-3</sup> 以上	
強度	つづれ針	23℃ 15以上
	保持強さ(N)	-5℃ 15以上
耐久性	加熱処理後の縦方向引張切断伸び残率(%)	50以上
	アルカリ処理後の縦方向引張切断伸び残率(%)	80以上
発火性	発火しないこと	